

# Newsletter

Vol.50 2023.7.15

日本養護教諭養成大学協議会

日本養護教諭養成大学協議会  
ニューズレターVol. 50  
会 長 遠藤伸子 (女子栄養大学)

★ ★ ★ ★ ★ 目 次 ★ ★ ★ ★ ★

養護教諭養成教育に期待すること・・・1  
 2023年度総会・講演・セミナーご案内・・・2  
 各委員会活動報告・・・3

リレー連載！大学院における養成ほか・・・4  
 理事選挙のお知らせ・トピックス・・・5  
 協議会活動報告・事務局からのお知らせほか・・・6



## 養護教諭養成教育に期待すること

健康教育調査官 松崎 美枝氏  
(文部科学省初等中等教育局  
健康教育・食育課)

学校教育活動にも大きな影響を与えてきた新型コロナウイルス感染症が、令和5年5月8日に感染症法上の5類感染症に移行し、3年余に及んだ新型コロナへの対応にも大きな節目を迎えました。これまで、感染拡大の防止と学校教育活動の継続の両立に取り組んでいただいていたことに、改めて感謝申し上げます。

5類感染症への移行に当たって、「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」を改定し、感染症への対応に関する基本的な考え方をお示しするとともに、学校保健安全法施行規則の改正を行い、新型コロナウイルス感染症に係る出席停止期間の基準を定めたところです。今後の感染症対策として、健康観察や換気、手洗いといった日常的な対応を継続しつつ、各地域の実情に即した対応を御検討いただきたいと思います。

また、令和5年1月17日、「養護教諭及び栄養教諭の資質能力の向上に関する調査研究協力者会議」での議論が取りまとめられました。この議論の取りまとめにおいては、養護教諭の養成、採用、任用・配置、研修の各段階における更なる改善に向けた検討に資する観点から、養護教諭の職務内容を定め、求められる役割（職務の範囲）を明確化することや養護教諭の専門性を反映した指標を作成すること、さらにその指標を反映した教員研修計画を作成すること等が求められているところです。

教員育成指標は、一義的には、現職の教師として向上を図るべき資質を定めるものであり、任命権者が策定する「教員研修計画」に反映することは勿論

教師自身がその内容を理解し、自己研鑽に当たっての拠り所とすることが重要です。特に新規採用の教師に対して求める資質については、大学等における教員養成の一つの出口を示すものとなります。このため、指標を策定する際に、教員養成と採用・研修の結節点として、関係者が共通理解を持ち、養成段階において、指標を活用した取組を行うなど、指標を基軸として、大学等と教育委員会等が連携することも有効です。

本協力者会議の検討の中で、特に養護教諭の養成に係る教職課程に関しては、教育系や看護系をはじめとして多様な養成機関があることから、「教職に関する科目」に加え、「養護に関する科目」についてもコアカリキュラムを作成し、採用時において養護教諭として求められる資質能力を担保することが必要ではないかという意見がありました。この点については、貴会において、養護教諭の実践に求められる力を育成するために養成教育を可視化し、会員校の行う教育の質を高めることを目的として、「養護教諭養成課程コアカリキュラム（養大協版）」が作成されているところであり、各大学等において、これらの内容も参考にしながら、教職課程の質の向上に向けた取組を進めていくことが重要であると考えています。

また、養護教諭は、学校において一人配置が多いことから、児童生徒一人一人の健康課題に対し、必要な知識やノウハウを得られる機会が限られており、適切に対応していくためには、それぞれの経験や年齢に応じて資質能力を向上させていくことが必要だと考えます。このため、文部科学省では、令和5年度予算において、養護教諭の加配定数の改善を図るとともに、繁忙期等における体制の強化や、時代に則した資質能力の向上を図るため、経験豊富な退職等養護教諭等を学校へ派遣する事業や養護教諭の業務の在り方に関する調査研究事業を実施しています。児童生徒等の健康の保持増進に、より効果的に取り組むため、学校における養護教諭の業務体制の構築が図られることを期待しています。

## 2023年度総会、講演、セミナーのご案内

開催日時：2023年9月7日(木)、8日(金)

今年度の日本養護教諭養成大学協議会総会ならびに講演は、会員へのアンケート結果を踏まえてオンライン開催とし、養成教育セミナーは、久しぶりの対面での開催となります。プログラムは以下の通りです。皆様のご参加をお待ちしております。

### 2023年度総会・講演のご案内 方法：オンライン開催

\*日時：2023年9月8日（金）

\*開催方法：オンライン開催

\*日程

12:30 開会

12:30～12:40 開会の辞、会長挨拶

13:40～13:40 総会

13:50～15:05 講演① オンライン配信  
文部科学省総合教育政策局 政策課の方にご講演いただきます。講師の先生は未定です。

15:15～16:25 講演② オンライン配信  
松崎美枝氏（文部科学省初等中等教育局  
健康教育・食育課健康教育調査官）

16:45 閉会の辞

別紙資料ならびに事前にお送り  
するGoogleフォーム等から  
お申込みください。



#### 👉 養成教育セミナーの申込み 👈

URL：  
<https://forms.gle/RtXSEdYRi5HgzuS17>

QRコード：



### 2023年度養成教育セミナー（対面） 会場：きゅりあん（品川区）

テーマ 「養護教諭養成課程コアカリキュラム  
（養大協版）コアカリ2020」の活用について

教育課程（カリキュラム）・養成制度（法制度）検討委員会では、「養大協コアカリ2020」の効果的な活用方法を検討することを目的としており、2023年度の養護教諭養成セミナーでは、会員校における「養大協コアカリ2020」の活用状況や、今後、活用できそうな内容について、対面で交流したいと考えております。多くのご参加をお待ちしております。参加申込みは、左下👇のURL、QRコードよりGoogleフォームにご回答をお願いいたします。

会員校の先生方に「養大協コアカリ2020の活用調査」をお願いしたいと思っております。メール配信もさせていただいていますが、締切りを7月末までに延長しましたので、

<https://forms.gle/LwRhFKqwKgULeoXa7>

よりGoogleフォームにご回答をお願いいたします。

<日程> 2023年9月7日（木）12:30～16:15

- 1) 全体会 12:35～14:20  
(1)講演会「養護教諭及び栄養教諭の資質能力の向上に関する調査研究協力者会議報告」  
講師：女子栄養大学名誉教授、日本養護教諭関係団体連絡会会長 三木 とみ子 氏
  - (2)「養大教コアカリ2020」の活用についての調査報告（会員校・教育委員会）
  - (3)「養大教コアカリ2020」学生アンケート調査報告
  - (4)グループワークの趣旨説明
  - 2) 分科会 14:30～15:40  
(1)グループワーク
  - 3) 全体会 15:50～16:10  
(1)各グループからの報告
- ※全体会の講演と報告は後日オンデマンド配信を予定しています。

## 各委員会活動報告

### 養成制度検討・ カリキュラム検討委員会報告

委員長 大川尚子 (京都女子大学)

本検討委員会では、協議会独自の「養大協コアカリ2020」を活用することで、養護教諭の資質の担保につながると考え、今期の検討委員会の活動は、コアカリキュラムの効果的な活用方法を検討することを目標としています。

昨年度、教職実践演習を履修する検討委員の大学の4年生を対象に、「養大協コアカリ2020」を活用した調査を実施しました。その結果を養成教育セミナーでご報告できるように分析検討をしています。

養成系の違いに関わらず、養護教諭を目指す学生が十分学んだことは何か、学習が不足していることは何か、明らかにしたいと考えています。

また、会員校の全ての会員の方々や各都道府県・指定都市教育委員会の養護教諭担当の指導主事の方々にも、「養大協コアカリ2020」の効果的な活用方法を検討することを目的とし今後、「養大協コアカリ」の改訂版を作成するときの資料とするために、調査を実施しており、その報告もできるように準備をしているところです。

今回の養成教育セミナーでは、講演会や2年間の調査結果の報告、ワークショップを通して、「養大協コアカリ2020」の普及に向けて、他大学でも活用拡大をしていただけるようなセミナーを目指しています。

4年ぶりの対面での養成教育セミナーです。ぜひともご参加をお待ちしています。

### 広報・渉外委員会より

鈴木裕子 (国士舘大学) 亀崎路子 (杏林大学)

現在、担当役員2名で活動しています。

ニュースレターの発行は、年2回となりました。会員校内で回覧されることも想定して、紙面だからこそ伝えられる、長く記録に残せることの意義を考えながら作成しています。

ホームページの更新は、ニュースレターの発行の時期に合わせて更新をするよう心掛けています。また、右の画像にあるように、ホームに会員限定の新しいタブ「スキルアップ研修」ができましたので、ご活用ください。

### ファカルティ・ディベロップメント (FD) 検討委員会報告

委員長 鎌塚優子 (静岡大学)

#### 活動報告

##### 1) 委員会報告

第1回委員会 日時：2023年4月30日 (日) 13時00分～14時25分 (オンライン開催)

内 容：

- ・2023年度活動計画について
- ・動画コンテンツの内容検討

参加者：鎌塚、川越、三森、齋藤、西岡

第2回委員会 日時：2023年6月18日 (日) 13時00分～14時00分 (オンライン開催)

内 容：ワークショップの検討

参加者：鎌塚、川越、三森、西岡

##### 2) ワークショップ報告

養成教育セミナーご参加の皆様からのご要望を受けて、その続編として「養護教諭養成教育における反転授業の活用」をテーマとし反転授業のワークショップを開催いたしました。

日 時：2023年3月13日 (月) 13:30～16:30

会 場：新大阪丸ビル別館

参加者の皆様からは、「久しぶりに対面のセミナーに参加でき、対面講義のすばらしさを体感した。改めて対面での良さを実感した」「養成セミナーでのワークショップではほとんど発言できなかったが、対面実施することで学びが深められ、有意義な時間になった。」などの感想が寄せられ、参加者にとって満足度の高い充実したワークショップとなりました。

#### 2023年度の活動の方向性

今年度は以下2点の活動を実施する予定です。

1) 動画コンテンツの作成 (③教育方法：6月中  
④授業技法：8月中、⑤学生支援：10月中) 及び  
動画コンテンツの評価

2) ワークショップ開催

開催日：10月8日 (日) 開催地：東京

内容等詳細は後日ご案内申し上げます。



スキルアップ研修  
(会員限定)

## リレー連載！ 大学院における養成

「養護教諭の資質向上に還元できる  
実践研究の展開」  
鎌塚優子（静岡大学）

本学は、2020年度の大学院改組により、従来の研究科が教職大学院として一本化されました。現職教員（①教育実践開発コース、②学校組織開発コース）とストレートマスター（③教育実践力育成コース）の3コースがあります。この改組により、①③に養護教諭のより高度な教育実践、研究を探究するための養護教育分野が開設されました。並行して、現職養護教諭派遣制度も開始されました。静岡県にはこれまで現職養護教諭の派遣制度はなく、長年に亘り、県内を中心とした養護教諭の皆様から強く要望されていたことが、今回の改組により、ようやく実現できたという経緯があります。昨年度までに、3名の現職養護教諭が派遣されています。派遣生の主な探究テーマとしては、教員育成指標にかかわる実態と課題及び指標と研修制度の一体化との関連、組織における養護教諭の役割、心の問題にかかわる資質能力の課題等、養護教諭の資質向上に還元できる実践研究が展開されています。修了生の中には、研究成果を生かし、教育行政で活躍されている方もいます。また、本学の学部における養護教諭養成は2016年に開講されたばかりですが、大学院に、より高度な養護教諭の専門性を修得するための分野が開設されたことによって、大学院を目指す学生も増えています。

カリキュラムの特徴としては、教職キャリアデザイン科目や課題研究の一部として、他の領域との研究交流を深める機会が設定されていることや、他の分野の科目が自由に選択できることにより、異分野との交流が活発に行われていることです。特に養護教育分野は学校組織開発コースとの交流や学びの時間が多いため、現職の養護教諭にとっては、教職全般の知識に加え、学校組織運営にかかわる知識や資質能力の向上など、視野を広げ多角的な側面から物事を捉えることができる機会となっています。近年、養護教諭からの管理職登用も増加しているため、今後ますます、組織マネジメント力向上のための学びは重要になってくると思います。また、本学は愛知教育大学と共同で博士課程（愛知教育大学大学院・静岡大学大学院教育学研究科共同教科開発学専攻）が設置されているため、さらに研究を深めたい方にとっては博士（教育学）の学位取得も視野に入れた研究活動が展開できるという特徴があります。

「子供の成長発達に介添えできる  
専門家の養成を目指して」  
齋藤千景（埼玉大学）

本学では令和3年度(2021年)教育学研究科の教職大学院への一本化にともない、教職大学院が拡充されました。拡充前は「教育実践力高度化コース」と「発達臨床支援高度化コース」の2コースでしたが、拡充後は「プログラム制」を採用し、10の教科に対応する「教科教育高度化プログラム」と、心理・教育実践学、特別支援、学校保健、教育学、乳幼児教育を含む「総合教育高度化プログラム」の2プログラムとなりました。養護教諭が学ぶ課程は総合教育高度化プログラムの中に学校保健サブプログラムとして設置されています。

授業の構成は共通科目の教職に関する科目と学校保健に関する専門科目をバランス良く学べるカリキュラムとなっています。具体的には共通科目として「教育課程編成」「教科指導」「生徒指導・教育相談」「学級経営・学校経営」「学校教育と教員の在り方」の5領域から16単位、サブプログラムごとに設定した科目から10単位、全サブプログラムの科目から自由に6単位を履修します。

実習（実地研究という名称です）は学卒院生と現職教員の内容を別に定めています。学卒院生は1年次後期に16日間と2年次前期に24日間行います。教員免許を保持した一教員として学部養護実習よりも深い教職への参加「高度な学校実習」（インターン参加）となります。埼玉県内の連携協力校、附属学校園の中から実施研究課題に対応した実習先を選定します。前期と後期で学校の変更も可能です。同じ小学校で1年間を通して実地研究をしている院生もいますし、前半は中学校、後半は高等学校を選択している院生もいます。また学部養護実習のように、一定時期に集中して行うのではなく、毎週1～2日の実地研究を数ヶ月に渡り行います。現職教諭は1年次には自らの計画に従い、個々の探求のテーマに沿った様々なフィールドへ訪問学習を行います。2年次には、勤務先において課題解決に向けて実践的に研究を継続します。学校保健サブプログラムでは、現在は現職教員の在籍者はなく、全員が学卒院生です。

3年目を迎え、今後はサブプログラムとしての授業内容の検証を行う予定です。



## 理事選挙のお知らせ

今年度は、現理事の任期終了に伴い理事選挙を行います。役員会では、日本養護教諭養成大学協議会理事選出に関する規程（選挙管理委員会）の第1条（下記参照）に基づき選挙管理委員を次の方に委嘱しました。

（選挙管理委員会）

- 第1条 役員会は、会員の中から3名の選挙管理委員を委嘱する。
- 2 選挙管理委員は、選挙管理委員会（以下、「委員会」と称す。）を組織する。
  - 3 委員会に委員長を置く。委員長は選挙管理委員の互選によって定める。

委員長：高田恵美子（畿央大学）

委員：岡本 啓子（四天王寺大学）

丹 佳子（山口県立大学）（敬称略）

また、理事選出にかかわる選挙日程は次のとおりです。

6月 14日（水）	選挙に関する書類の送付
7月 7日（金）	投票締め切り
7月 16日（日）	開票ならびに 該当評議員への連絡 等
9月 8日（金）	総会での報告

以上、会員校の皆様には、理事選出にかかわる選挙につきまして、お世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

（副会長 池添志乃）



## トピックス

文部科学省総合教育政策局教育人材政策課「公立学校教員採用選考試験の早期化・複数回実施等について方向性の提示」が公表されました。  
亀崎路子（杏林大学）

令和5年5月31日、文部科学省より、質の高い教師を十分に確保するために、公立学校教員採用試験選考試験の早期化・複数回実施等に係る取組等の方向性が公表されました。これは、文部科学省と全国の関係団体で構成する協議会で議論されたものです。内容は、近年の教員採用選考試験の採用倍率や受験者数が、校種を問わず減少傾向にあること、教員免許状を取得しながらも、他の職種に流れる層が相当数いる現状があること、民間企業の就職・採用活動が、政府から経済団体等に要請している選考開始日6月1日より早い段階で就職活動が終了している傾向があること、一部の教育委員会では、危機感をもってより受験しやすい教員採用選考の取り組みの工夫が打ち出されている状況があることなどです。これに対して、協議会では、①地方公務員採用試験日程を目安として1～2か月程度前倒しする、②国家公務員採用試験日程を目安として3ヶ月程度前倒しするという2つのパターンで議論が行われています。解決が必要な課題点として、早期化については、問題作成の作業スケジュールの前倒しによる負担、複数の自治体を受ける受験者の増加とともに最終合格から採用を辞退する者の数を見込むのが難しくなることなどです。また、教育実習の実施時期が5～6月頃や8～10月頃が多いため、学生の教育実習の時期と重なる可能性、関連して学生が教師になるという意思が固まらない状態での受験につながってしまう可能性があります。複数回の実施については、不合格者が繰り返し受験するだけとなることで負担に見合った成果が得られない可能性、受験者の増加とともに追加で問題作成が必要となることへの負担、大学3年生への負担などが述べられています。これに対して、学校現場体験の積極的な活用を含め教育実習の在り方の柔軟な見直しや実施時期や期間の在り方の検討が必要とあり、非常に悩ましいと感じます。他にも、試験実施における負担軽減、教師志願者の増加に向けてのアプローチ、受験者を増やすための配慮などが示されています。

養護教諭の採用試験の動向についての記載はありませんが、今後に向けて、会員校同士の情報交換に期待したいと思います。

## 協議会活動報告

### 2022年度第8回役員会

日時：2023年3月13日（月）10:00～11:45

場所：新大阪丸ビル別館 5-1号室

ハイブリッド開催

＜出席者＞池添、遠藤、大川、亀崎、鎌塚、鈴木、竹鼻（ワライ）、松枝、三森（記録：三森）

＜協議事項＞①2023年度養成教育セミナーについて②総会、養成教育フォーラムについて③FD検討委員会活動計画について④活動報告書について⑤ニューズレターについて

＜報告事項＞選挙管理委員について

### 2023年度第1回役員会

日時：2023年5月13日（土）9:30～11:35

オンライン開催

＜出席者＞池添、遠藤、大川、鎌塚、鈴木、竹鼻、松枝、三森（記録：大川）

＜協議事項＞①2023年度総会、養成教育フォーラム、養成教育セミナーについて②コアカリキュラム実施状況調査について③ニューズレター計画案について④活動報告書について⑤FD検討委員会ワークショップについて

＜報告事項＞①理事選挙について②各委員会活動について③2022年度収支報告ならびに2023年度予算について

（庶務 三森寧子）



## 編集後記

不謹慎ながら、有名な小説の冒頭「国境の長いトンネルを抜けると雪国であった。夜の底が白くなった。…」になぞらえて、「コロナの長いトンネルを抜けると新世界であった。これまでの対応が白紙になった。…かも」と独り言をつぶやいております。これまで人と人とのコミュニケーションを頼りに了解されてきた様々なことがそぎ落とされてしまったような印象を受けています。一方で、新たなコミュニケーションの形や方法を手に入れて、発見も多くなりました。時代や社会の変化は養護教諭養成にも影響を及ぼしている部分があることと思います。より一層、情報交流の手助けとなれば幸いです。（広報渉外 亀崎路子）

## 事務局からのお知らせ

2023年度に限り、年会費の徴収はございませんが、評議員の登録、基本調査については4月をお願いしております。今年度は理事選挙の年になりますので、ご登録、ご回答を宜しくお願い致します。

なお、評議員を交代される場合には、申し送りをお願い致します。

また、6月1日をお願い致しました、コアカリ活用の調査におきましてはご協力ありがとうございました。御礼申し上げます。

引き続き事務局運営にご協力賜りますようお願い申し上げます。

（事務局 遠藤伸子）



## 会計より

2020年から続くCOVID-19の影響により、本協議会の活動は制限を余儀なくされ、今期の予算執行は通常とは異なる支出が続いております。そのような中、昨年度はWithコロナで出来ることを模索しながら徐々に活動を拡げており、会員校の先生方にはご理解および協力いただき御礼申し上げます。

会計としては長期にわたる活動制限期間を留意する必要があります。2022年12月の臨時総会において特例措置が承認されたことを受け、本年のみならず次年度以降の安定した活動の継続を見据えて、身を引き締めて取り組みます。

引き続き、ご協力よろしくお願いたします。

（会計 松枝睦美）



日本養護教諭養成大学協議会

<http://www.j-yogo.jp/>

【事務局】女子栄養大学

TEL&FAX：049-282-3609（事務局）

Mail：yogojimu@j-yogo.jp